

風評払拭・リスクミ強化戦略の フォローアップについて

平成31年4月
環境省

放射線リスクコミュニケーションの取組(1)

！ 知ってもらう（放射線に関する正しい知識の理解と誤解の払拭）

① 教育現場の外も含めた研修等

福島県近隣県を中心に、自治体職員研修や住民セミナーを開催。平成30年度は、福島県でリスクコミュニケーション活動をしていた保健師を講師とした、他県の保健師向けの研修を実施。



福島県の保健師を講師とした研修

② これまでに蓄積されたデータの継続的・効果的な発信

水環境等一般環境中における放射性物質等の被災地周辺の基礎的な情報等を的確に把握し、情報を国民に提供することから環境モニタリング調査を実施し、その結果を速やかにかつ分かりやすく公表している。



相談員合同ワークショップの様子

③ 相談員等による相談対応の強化

住民を身近で支える相談員の方々が円滑に活動できるよう、昨年度に引き続き、複数の自治体の相談員が集まる相談員合同ワークショップを平成30年8月と平成31年3月の2回実施。

今年度からは、新たに「ふくしま心のケアセンター」が参加し、ワークショップ以降、「ふくしま心のケアセンター」が実施する研修に相談員の参加を促すなど相談員支援センターと関連機関との連携を深めている。



放射線リスクコミュニケーションの取組(2)

！ 知ってもらう（放射線に関する正しい知識の理解と誤解の払拭）

④ 放射性物質対策を基盤とした環境再生に至る理解促進

「環境再生プラザ」、特定廃棄物埋立情報館「リプルンふくしま」や「中間貯蔵工事情報センター」等を通じて、環境再生の取組の進捗状況や、事業の安全性等に関する様々な情報発信を実施。

中間貯蔵工事情報
センターでの展示物
見学の様子



環境再生プラザ
での企画展示



リプルンふくしま
での学生による
展示見学の様子



！ 食べてもらう（農林水産物の風評の払拭）

⑤ 福島県産品の利用・販売促進

○ 国民公園等を活用した福島環境再生状況の発信事業の一環として、新宿御苑において、福島県特産品等の販売を行う福島マルシェを複数回実施。

○ 環境保全活動に係る総合的な普及啓発を目的に、環境月間である毎年6月に「エコライフ・フェア」を開催。その中で、被災地復興を後押しするため、福島県等に協力の下、特産品、名産品の屋台や物産展コーナーを設けている。

今年も6月1日・2日に代々木公園で開催予定。

新宿御苑で
開催された
福島マルシェ



エコライフ・
フェアにおける
福島県物産品の
屋台



放射線リスクコミュニケーションの取組(3)

！ 来てもらう（観光業における風評の払拭）

⑥ 県外・海外からの旅行客の回復に向けた施策

三陸復興国立公園の創設を核に、“みちのく潮風トレイル”の設定を行っており、2019年6月に全線開通予定。



みちのく潮風トレイルの管理運営の中心を担う「名取トレイルセンター」

⑦ 教育旅行の回復に向けた施策

復興庁や福島県観光物産交流協会のPRにより福島県を教育旅行先として検討している学校のうち、事前学習や保護者向け説明を必要としている学校に対し、旅行先の放射線量等を専門家がわかりやすく説明。



教育旅行の事前学習会の様子

！ 今後の主な取組

○ 本年2月に公表した「放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料（英文版）」を活用し、外国人に向けても放射線健康影響等に関する正確な情報発信に努める。

統一的な基礎資料英語版のHP



○ 引き続き、相談員支援センターが各自治体の相談員を支え、避難指示解除後の住民の方々の生活に寄り添って不安払拭に取り組むとともに、現場の最前線で不安払拭に努める相談員の活動についても情報発信を進める。

暮らしの手引き+
(平成31年3月作成)

